

開成宮農経済センターからのお知らせ

回覧の注文書等について

「果樹・水稻土壌改良剤」「果樹冬農薬」
※お申し込みのお忘れがないようご注意ください。

農薬・資材等の自己取り日について

「みかん関連資材」

令和5年10月19日(木)・20日(金)・21日(土)

9:00~15:00までに取りに来てください。

上記以外のご注文品は準備ができ次第、ご連絡いたします。

技術顧問の日 (園芸相談)	農業の専門家が農作業の相談に応じます。(金曜午後と土曜は不在です。) 1日・5日・12日・15日・26日は不在となります。 (※上記以外は在席予定となっておりますが、都合により不在の場合がございます。)
お米の日	神奈川県産の玄米を特別価格で販売します。(毎月第2・第4火曜日) 10月10日・24日となります。
棚卸の日	ご迷惑をお掛け致しますが、何卒よろしくお願い申し上げます。 10月31日(火)は棚卸のため、15時に閉店致します。 尚、コイン精米機は17時まで営業致します。

～作物管理情報～

【お茶】

秋整枝 10月上中旬 (平均気温で18℃程度になる時期)

一番茶のために、摘採面を揃えます。(葉層は8cm以上)再萌芽の防止や寒害の影響をうけないように、時期をはずさないようにしましょう。

(整枝位置の目安)

一番茶のみ摘採の場合：夏整枝位置の5cm上。

二番茶を摘採した場合：二番茶摘採位置もしくは二番茶整枝の5cm上。

敷き藁 秋整枝以降

冬季の根に対する乾燥と寒害の防止のため敷き藁をしましょう。

病害虫防除 秋整枝後 11月

○カンザワハダニ アタックオイル 100倍 1ℓ/水100ℓ

チャトゲコナジラミ

(晴れた日を選んで防除すると効果的です。)

—— 【温州みかん】 * 下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。 ——

病害虫防除

9月下旬～10月中旬

○カメムシ類 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日 3回
 又は **ロディー乳剤(劇)** 2,000倍 50ml/水100㍓ 収穫7日前 4回

10月下旬～11月上旬

○ハダニ類 オマイト水和剤 750倍 133g/水100㍓ 収穫7日前 2回
 又は **ダニサラバフロアブル 1,000倍 100ml/水100㍓ 収穫前日 2回**

11月中旬

○貯蔵病害 ベフトップジンフロアブル(劇) 1,500倍 66ml/水100㍓ 収穫7日前 3回
(青かび病、緑 又は **トップジンM水和剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日 5回**
かび病、軸腐病)

※ただし、オマイト水和剤とベフトップジンフロアブルの混用は避けましょう。

* 秋に発生したミカンハダニは果実に移動し着色不良の原因となりますので散布ムラのないように防除しましょう。

浮皮軽減 蛭尻期（果実の底部分が色付いてきた時期）

○フィガロン乳剤 3,000倍 33ml/水100㍓ 収穫7日前まで **2回散布**
1回目 蛭尻期に散布 2回目 蛭尻期の2週間後 **散布量の目安 300㍓/10a**

* 7～8月にフィガロン乳剤を散布している園や、樹勢が低下している樹には散布を控えましょう。

摘果

大津・青島は大玉になりやすいので、収穫に向けてそれぞれの樹の着果量に応じ、不良果実を摘果します。
(スソ、フトコロの果実から実施し、上部の天なりの大玉は最後に摘果します)

—— 【中晩柑】 ——

病害虫防除

基本防除は上記みかんの項を参照して下さい。

施肥 10月下旬

○秋肥 みかん配合 100kg/10a （果実内容の向上・樹勢回復のため）

* 中晩柑の防除における農薬の使用日数には十分に注意しましょう。

—— 【レモン】 ——

施肥 10月下旬

○秋肥 みかん配合 100kg/10a （果実内容の向上・樹勢回復のため）

収穫 10月～ 傷がつきやすいので、果実の取扱いは丁寧に行う。

—— 【キウイフルーツ】 ——

施肥

樹勢回復のために9月に分肥した残り分キウイフルーツ配合40kg/10aを10月中旬に施肥します。
9月の施肥を行っていない方はキウイフルーツ配合100kg/10aを10月中旬に施肥しましょう。

—— 【く り】 ——

施肥

○礼肥 化成肥料 14-14-14 60kg/10a

収穫後、直ちに樹勢の回復と翌年の母枝を充実させるために施用します。

イガを園内にそのままにしておくと、病気の発生源となりますので、土中への埋没や園外廃棄しましょう。

【かき】

収穫

かきの熟度は色で判断します。着色期にも肥大しているため、品種特有の色が十分に現れるまで着色させてから順次収穫しましょう。

施肥 収穫を始めた頃

○礼肥 柿配合 50kg/10a 苦土石灰 100 kg/10a

樹勢の回復と翌年の花芽充実と、着蓄を促進させる大切な肥料です。施肥が早すぎると果実の成熟が遅くなり、逆におそいと吸収されにくくなります。果色が緑色から黄色に変わる頃を目安に、極早生種は9月下旬～10月上旬、富有や次郎では10月中下旬頃行いましょう。

【うめ】

施肥

○土壌改良 10月上中旬 苦土石灰 200kg/10a

○秋肥施用 10月中下旬 梅配合 120kg/10a

病害虫防除 10月上旬～11月上旬

2週間間隔で2回

○かいよう病 多発園ではIC ボルドー66D 50倍 2kg/100㎡ 葉芽発芽前まで

※カイガラムシの防除のためアタックオイルを散布する場合は、IC ボルドーと混用せず、散布間隔を2週間以上空けてください。

【水稲】

スクミリンゴガイ対策

今年度も発生拡大を阻止するため、水田では収穫後必ず耕耘(速度はゆっくり、ロータリー回転は速く)を行い、貝を傷つけ越冬させないようにしましょう。また、水路や排水溝なども越冬場所となるので、捕殺、清掃を必ず行いましょう。**(※捕獲した貝は道路等には捨てないようにしましょう。)**

～学校給食米(はるみ、てんこもり、キヌヒカリ、さとじまん、コシヒカリ)出荷にご協力ください～

当JAでは、9月24日から11月上旬まで米穀集荷を行います。JAに出荷されたお米の約8割が、学校給食用として供給されています。供給量は不足していますので、1袋でも多くのお米にご協力ください。(学校給食にお米を供給することで概算金の安定が図られています。)

春先に出荷契約を結んでいない方でも、出荷することが出来ますが、支払い条件等が異なります。

また、JAへの出荷に当たっては、インボイス制度の都合上「組合員」名義での出荷をお願いいたします。詳細は最寄りの営農経済センターにお問合せください。

<注意>

「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。(前日は24時間前)

「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

△△店舗により農薬の在庫状況が異なりますので、記載の農薬を購入される場合は購入先の店舗に事前に在庫確認をしていただくとスムーズに購入できます。△△

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

《有害鳥獣情報～シカ・ハクビシン編～》



シカの生態

大きさ ・体長135～150cm ・体重45～80kg

- 特徴** ・本来警戒心が強く臆病で注意深い為、人前にはあまり姿を現しません。
- ・しかし、慣れてしまうと大胆不敵な行動をとるようになります。
 - ・夜間に農地に出てくることが多いですが慣れると昼間でも出没します。
 - ・一度に1頭を出産。通常は5～7月に産みます。
 - ・「ピィッ」という警戒音を発して、仲間のシカに危険を知らせる事があります。

身体能力 ・跳躍力に優れ、2mの高さを飛び越える能力があります。しかし野犬等に追われない限り、積極的に飛び込むことは少ないです。

ハクビシンの生態

大きさ ・体長90～110cm ・体重3～4kg

- 特徴** ・完全な夜行性で、行動範囲は1～5km程で、雄の方が雌よりも行動範囲が広いです。
- ・平地から山地に生息し、昼間は樹の洞や人家の屋根裏や倉庫等をねぐらとします。
 - ・ねぐらは複数あり、そこを転々と移動します。市街地に生息する個体は側溝も移動ルートとして利用します。
 - ・子供を産む年齢は、生後10か月以降です。1年に1回繁殖し、平均2～3頭の子供を産みます。夏から秋にかけて多く生む傾向です。
 - ・ハクビシンの被害は、主に農作物に対する被害と生活環境被害です。
 - ・生活環境被害では民家の天井裏や床下、農業倉庫や物置といった場所に侵入し、棲みつき、そこに糞尿を排泄するなどの被害も報告されています。民家の天井裏に侵入してしまった場合は、尿が天井にシミや汚れを作り異臭を発して、場合によっては住民の健康にも悪影響を与える報告もされています。
 - ・農作物の被害としてはミカンやカキ等の果実、トウモロコシやサツマイモ等の野菜、小動物、昆虫、鳥類やその卵を食べます。

《野生動物を引き寄せない環境の整備》

～農地を野生動物のエサ場にしない～

野生動物は食べてもよいものといけないものの区別はつきません。廃棄した果実や野菜を畑のそばに放置したり、収穫しない果実や野菜をそのままにしておくと、野生動物をひきつける原因となります。廃棄野菜や放棄果樹を適切に管理しましょう。

また、電気柵等の資材を適切に活用し、圃場への立ち入りの防止を行い、皆様の大切な農作物を守りましょう。（開成営農経済センターでもお取り扱いがございます）

（※JAでは条件により、購入費用の一部助成制度をご用意しております。詳しくは開成営農経済センターまでお問い合わせ下さい）